

平成30年度

図 書 館 要 覧

川越市立中央図書館



川越市民憲章

先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産をもつ川越。
わたくしたちは、このまちに生きることに誇りをもって、さらに住みよい
魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を
定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうるおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。



市の木・かし



市の花・山吹



市の鳥・雁

目 次

1. 川越市立図書館の概要

1) 川越市立図書館略年表	1
2) 川越市立図書館及び返却ポスト配置図	2
3) 川越市立図書館 各館の概要	3
4) 図書館コンピュータシステムの概要	12
5) 組織図	12
6) 図書館協議会の状況	13
7) 図書館条例、規則等	14

2. 平成30年度 運営方針

1) 川越市立図書館の運営方針	20
2) 川越市立図書館平成30年度予算	21
3) 川越市立図書館年間事業計画	22

3. 平成29年度 事業実施状況

1) 平成29年度事務事業の概要	29
2) 蔵書の状況	30
3) 年齢別登録者数	32
4) 貸出統計	33
5) 地区別登録者および貸出一覧表	34
6) 広域・相互利用の状況	35
7) 貸出状況	36
8) リクエストの状況	38
9) 参考調査業務の状況	38
10) 障害者サービスの状況	39
11) 図書館施設の利用状況	39
12) 各種事業の状況	41
13) 視聴覚ライブラリーの状況	46
14) 雑誌スポンサー制度	48
15) 広告事業	48

※本要覧の統計は、原則として平成29年度の実績または平成30年3月31日現在の内容である。

資 料

過去5年間における図書館運営状況の推移	50
---------------------	----

1. 川越市立図書館の概要

1) 川越市立図書館略年表

T…大正 S…昭和 H…平成

T.4	5・1	旧南久保町に私立川越図書館開館。館長菅野政五郎、理事長安部立郎。	10・	一部の市立小学校へ学級訪問開始。
T.5～6		安部立郎校訂『川越年代記・三芳野砂子』『川越素麺』『三芳野名勝図会』発行。	H.2 10・	西文化会館児童コーナー開設。
T.7	6・15	川越町立図書館として埼玉県知事より認可、町立図書館となる。	H.3 4・2	川越第一・川越小学校 学級招待開始。
T.11	12・1	市制施行にともない市立図書館となる。		第2期コンピュータシステム稼動。利用者用蔵書検索端末(OPAC)導入。
T.14	5・1	創立10周年記念祝賀式開催。	7・	中学生向けおすすめ新刊リスト『星のかげら』創刊。
S.7	10・5	旧北久保町に移転新築開館。	H.5 6・	視覚障害者向けプライベートテープ作成開始。特別養護老人ホーム「やまぶき荘」に貸出文庫「やまぶき文庫」開設。
S.20	3・31	児童閲覧室を閉鎖、市内駐屯中の軍隊に貸与。	H.6 3・30	『校注武蔵三芳野名勝図会』発行。
S.24	10・1	創立35周年記念式典開催。『川越図書館のしおり』発行。	H.7 1・20	霞ヶ関南分室(霞ヶ関南小学校内)開設。
S.25	4・30	図書館法公布。	5・	ひよこおはなし会開始。
S.28	11・10	『川越市立図書館郷土資料目録』第1版発行(以降平成4年まで改訂等により計8冊発行)。	10・	新移動図書館車やまぶき号巡回開始。
S.37	6・1	小グループによる回覧制団体貸出制度を設け、家庭婦人を対象に配本貸出開始。“リーディング・ファイブ”と命名。	H.8 12・13	第3期コンピュータシステム稼動。
S.41	10・28	創立50周年記念式典開催。『川越市立図書館50年のあゆみ』発行。	H.9 3・31	『ひよこBOOK』発行。
S.42	10・2	「家庭文庫友の会」を設立。	5・20	川越市立図書館配本所連絡協議会へ分室・配本所業務の委託開始。
S.50	6・1	開架貸出室、児童貸出室を設置。一部開架制とする。	7・2	川越都市圏まちづくり協議会の7市町(川越・坂戸・鶴ヶ島・日高市、川島・毛呂山・越生町)による広域利用開始。
	12・	霞ヶ関北公民館配本所開設(以後、昭和56年まで市内8公民館に逐次設置)。	12・1	上福岡市・大井町と相互利用開始。
S.57	1・19	川越市立図書館建設委員会設置。川合喜一市長より図書館建設について諮問。	H.12 10・1	狭山市と相互利用開始。
	7・	「川越市立図書館 図書館だより」創刊(以降平成18年第68号まで)。	27～29	リサイクル市開催(以降毎年1回開催)。
S.58	11・16	川越市朗読の会(川越市立図書館音訳者グループの前身)発足。	H.13 3・31	『川越市立図書館収蔵文書目録』(1)発行(以降平成24年(3)まで3冊発行、途中タイトルの一部変更あり)。
S.59	10・31	三久保町に移転新築開館。AV資料(CD・カセットテープ・レコード)の視聴開始。南公民館より視聴覚ライブラリー移転。図書館コンピュータシステム導入(第1期)。	12・26	霞ヶ関配本所・西文化会館児童コーナー廃止。
	11・20	駐車場17箇所移動図書館やまぶき号貸出開始。配本所を霞ヶ関北・霞ヶ関・高階南公民館に継続設置。	H.14 2・	第4期コンピュータシステム稼動。
	12・15	対面朗読サービス開始。	2・14	インターネット蔵書検索・予約サービス開始。
S.61	4・1	川越市史編纂業務終了により、市史編纂室収集資料が移管される。	3・	視覚障害者向けDAISY録音図書製作開始。
	7・15	AV資料貸出開始。	4・1	西図書館開館(磁気タグ方式の不正持ち出し防止装置導入)。川越市立図書館の名称を「川越市立中央図書館」に変更。一部カウンター業務の民間委託開始。ビデオ貸出開始。
	9・7	にちようおはなし会開始。	7・21	川越駅東口図書館開館(磁気タグ方式の不正持ち出し防止装置導入)。
S.62	3・31	『川越市史研究』第2号発行(以降平成5年第4号まで3冊発行)。	11・1	利用者用蔵書検索端末(OPAC)からの予約申込受付開始。
	7・10	霞ヶ関東小学校の学校図書館研究事業に協力、学級訪問(ブック・トーク等)を開始(2箇年)。	12・1	『本の中の川越』発行。
	10・7	児童向けおすすめ新刊本リスト『きこえる?ぼくたちのおしゃべり』創刊。	H.15 8・22	ブックスタート開始。
H.元	4・	古谷東小学校の学校図書館研究事業に協力、学級訪問開始(2箇年)。	9・	いないいないばあのおはなし会開始。
	4・25	児童室だより『はろーぶっく』創刊。	H.16 3・31	『川越市立中央図書館収蔵和漢古書目録』発行。
			5・10	東京国際大学図書館と相互協力開始。
			H.17 10・1	ふじみ野市と相互利用開始。
			H.18 1・5	中央図書館2階にICタグ方式の不正持ち出し防止ゲート設置(以降平成20年6月1階にも設置)。
			4・1	さいたま市と相互利用開始。
			H.19 3・31	移動図書館「やまぶき号」廃止。

	『川越市立中央図書館所蔵郷土資料への道案内』発行。	H.26	1・22	高階図書館でぬいぐるみおとまり会とおはなし会開始(以降西・川越駅東口・中央図書館で順次開始。
	12・27 高階南配本所廃止。			
H.20	2・26 第5期コンピュータシステム稼動。インターネット端末利用者開放開始。DVD貸出開始。		2・26	第6期コンピュータシステム稼動。
	3・5 予約資料のメールによる連絡開始。		3・1	自宅端末による貸出期間延長導入。
	5・1 高階図書館開館(ICタグ方式の貸出・返却開始、不正持ち出し防止ゲート設置)。		5・15	中央図書館でバリアフリー映画会(副音声付き)を開催(以降毎年1回開催)。
H.22	4・ 全市立小学校(3年生対象)への学級訪問または学級招待を開始。	H.27	4・1	図書館資料郵送貸出サービス開始。
			5・1	川越に図書館が生まれて100年を迎え、この年は複数の記念事業を実施。
H.23	4・23 川越市立図書館が「平成23年度子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける。	H.29	3・31	『川越市立中央図書館収蔵文書目録』(4)発行
H.24	1・1 返却遅滞者に対する貸出停止制度開始。中央図書館で雑誌スポンサー制度開始(以降西・川越駅東口・高階図書館で順次開始)。			
	2・1 国立国会図書館の配信する「歴史的音源」の利用開始。			

2)川越市立図書館及び返却ポスト配置図

